

地域団体の紹介

富士見町自治会

富士見町自治会 会長 野村 純二

富士見町はサーフィンのメッカである浜須賀海岸に近く、若者から憧れの目で見られるブランド化しつつある地域でもあります。町内の道路は広くゆったりとした道幅であり、生活しやすい環境です。また、町内にはサーフィンに魅せられた若者が大勢越してこられ、一年中サーフィンを楽しんでおられます。町内には約600世帯、2,000人の方が住んでおられます。

当自治会では年2回の大きなイベントを開催しております。その一つが、夏に行われる「地引網大会」です。わずか2~3時間のイベントですが、網が上がるまでの間、ビーサン飛ばし等のゲームを行い参加者全員で楽しめます。また、卒業シーズンの3月には白十字会林間学校校庭において「富士見町まつり」を開催し、餅つき、豚汁作りを行い無料にて振る舞い、その他フランクフルト、焼き鳥等の模擬店を出し、合間にくじ引き等のイベントを催し、参加者に楽しんで頂いています。その他松浪地区全体としては球技大会、地区市民体育祭、盆踊り大会、ふれあい祭り等、盛りだくさんのイベントがありますので、老若男女問わず大勢の方々に参加頂き、懇親を深めて頂ければと思っております。



老若男女問わず大勢の方々に参加頂き、懇親を深めて頂ければと思っております。

緑が浜自治会

緑が浜自治会 会長 刈間 昌仁

緑が浜自治会は自治会加入世帯が約750、松浪地区では3番目に世帯数の多い自治会です。20年ほど前に県道沿いのマンション開発が進み、一気に世帯数が倍になりました。組数は36組あり、原則毎月組長会を行って情報共有に努めています。良い意味で若く活気のある街ですが、他の地域ほど歴史はないため、互いの顔が見えづらいという欠点もあります。

自治会では住民相互の親睦を深めることを目的に、「初日の出を祝う会」、「餅つき大会」、「地引き網大会」、「緑が浜フェスティバル」などのイベントを開催しています。また、子ども会が主催して「ハロウィン仮装大会」を実施しています。「初日の出を祝う会」は、年末の31日に豚汁を作り、元旦に海岸で配るといって長年続けている行事です。昨年は1度休止したのですが、今年はボランティアを募り住民の皆さんの力をお借りして開催しました。

今後も多くの住民の皆さんの力を結集できるような自治会運営を心掛けていきたいと思っています。



ゆめクラブ 松浪 松浪地区老人クラブ連合会 会長 大曾根 修一

私たち連合会は、松浪地区にお住まいの高齢者を対象に組織された団体で、現在は8老人クラブ、416人の会員で構成されています。事業としては、隔月の定例会、年1回開催される「(歌あり、踊りありの楽しい)クラブ大会」、「心の健康教室(体操、落語、軽音楽など)」、「日帰りバス旅行」などが主なクラブの行事です。そして、地域の行事にも積極的に参加し、多大な貢献をしていると自負しております。一方、会員の年齢構成は60代前半から90代まで多岐にわたっていますが、最近の全国的な傾向として、会員の減少に苦慮しています。このような状況の中でも、当連合会は8クラブの横の連携を密にしながら各自クラブの会員加入促進を図っております。これには各自治会長さんを始め、皆様方のご理解が不可欠であります。

いずれにしても、高齢者の方々が日々希望を持って生活していけるよう、当会としては努力していますが、松浪地区にお住まいの皆様方のご協力以外に発展の道はございません。“人間だれしもいずれ高齢者になります” お忘れなく!

スポーツ少年団の紹介

松浪地区スポーツ少年団 代表 (神奈川県常任委員) 櫻井 武一

日本スポーツ少年団は日本スポーツ協会に属し、スポーツ少年団はスポーツを通じて「青少年の健全育成」を目的に活動しています。現在、神奈川県には396団、団員8643名、指導者2420名が登録しています。茅ヶ崎市では28団、団員908名、指導者306名が登録しています。松浪地区には3団のスポーツ少年団があります。現在、団員が減少して困っています。是非スポーツの歓びを青少年に体験して頂きたいと思っております。幼稚園年長さんから入団できます。随時、募集していますので下記へ連絡下さい。

●松浪スポーツ少年団: 櫻井 090-9324-1459 ●親和スポーツ少年団: 奥野木 090-3339-1324

●松浪ミニバスケットボールスポーツ少年団 ホームページ: <http://www.matunami-mini.com/>



【松浪スポーツ少年団】松浪小で少年野球



【松浪ミニバスケットボールスポーツ少年団】松浪小でミニバスケットボール



【親和スポーツ少年団】汐見台小で少年野球

まつなみだより

2019年を迎えて(平成最後の年頭挨拶)

松浪地区まちぢから協議会 会長 植松 伸擴

あと1ヶ月もしないうちに新しい元号が発表され、5月1日には新しい天皇に代わることが決まっています。古来中国などでは何か吉兆や災異があると、元号を新しくして、新しい時代になった事を世の中に告げるという事が行われてきました。今の世の中、元号を変えたからといって急に変化が起こるとは言えないでしょうが、あとで振り返ると一つの変化を与える転機になっていたような事が言われています。

平成時代は大きな地震災害や豪雨災害が多く発生しました。今回の改元(年号・元号を改定する国家行事)は天皇の譲位によって、新しい天皇が即位して改元が行われるという珍しいケースです。明治5年に元号などに加えて西暦が採用される様になって、それまでの事変も西暦でも表現される様になりました。いつの時代の出来事が分り易くなりました。例えば今までで一番大きな津波が来たと言われている「貞観11年」の地震による津波も、「西暦869年」の事だと言われれば、今から1150年も前の事だと判ります。



松浪地区賀詞交歓会が開催されました

松浪地区まちぢから協議会 広報委員

平成31年1月12日(土)、毎年恒例の松浪地区賀詞交歓会が、松浪コミュニティセンターで開催されました。

オープニングは松浪中学校の吹奏楽部による演奏披露で、コミセンがコンサートホールのような素敵な雰囲気になりました。

植松会長は、開会挨拶にて平成の30年間に思いを馳せるとともに、新しい時代、新しい市長への期待を述べられ、「地域の問題は地域の力で解決、実現を」と参加者72名へのバックアップをお願いされました。

次に、来賓としてお迎えした、昨年11月に就任された佐藤光市長からご挨拶をいただきました。老朽化した県



営住宅跡地に建設されたこのコミセンが、すっかり松浪地域に溶け込んで運営されていることへの感謝を述べられました。続いて、神原教育長がお心のこもったお言葉を下さいました。乾杯は茅ヶ崎市議会議員の広瀬議員、水本議員のご唱和のもと行われました。

乾杯のあとは市の行政職員、地域の各団体参加者が和気あいあいと歓談の中、佐藤市長が全テーブルを回り、貴重な意見交換が行われました。

前田副会長の、金平糖のように甘い(さとう)中に光が射す(ひかる)新しい年に、地域の一人ひとりの努力で、ますます素晴らしい松浪地区にしていきたいとご挨拶で閉会となりました。

乾杯のあとは市の行政職員、地域の各団体参加者が和気あいあいと歓談の中、佐藤市長が全テーブルを回り、貴重な意見交換が行われました。

前田副会長の、金平糖のように甘い(さとう)中に光が射す(ひかる)新しい年に、地域の一人ひとりの努力で、ますます素晴らしい松浪地区にしていきたいとご挨拶で閉会となりました。



平成31年3月15日発行(第15号)
発行: 松浪地区まちぢから協議会
HP: <https://matunami.jimdo.com/>
印刷: (有) 仲手川印刷



「元号改変」をキーワードにした新しい手口にご注意

松浪地区まちぢから協議会 市民安全部 部会長 白石 嘉明

茅ヶ崎警察署によると、昨年茅ヶ崎警察署管内でオレオレ詐欺を含む特殊詐欺の認知は92件、金額にして約1億9千万円の被害が発生しています。地区別の発生状況を見ると、松浪地区は市内で2番目に多く、前年より2件プラスの10件(内未遂1)で、被害者の8割が70歳以上の女性でした。

手口の9割はオレオレ詐欺で、残りの1割は架空請求詐欺で、電話にて息子や孫を騙る従来型のほか、有名デパートなどの社員を騙りキャッシュカードを受け取るものでした。

今年に入り天皇陛下の退位に便乗し、「年号が変わる。天皇陛下のアルバムを買わないか。」と高額な値段の購入を電話で持ち掛けられたり、「訴訟になる!」と脅かす架空請求のハガキが来たという相談が、消費者センターに寄せられているほか、新たな手口とし「元号改変であなたのキャッシュカードが使えなくなる」、「キャッシュカードを交換するので送って」などと書かれた架空の銀行協会の書類等と共に、返信用の封筒が同封された封書が

自宅に郵送されるという事案が発生しています。返信書類の中には暗証番号を記入する欄があり、返信するとキャッシュカードと暗証番号が犯人に渡ってしまう仕組みです。

さらに、来年開催される東京オリンピックに便乗した様々な詐欺事犯の発生が予測されています。

被害に遭わないためには 振り込む前に、まずは家族や警察に相談!

「お金に関する話が出たらそれは詐欺です。」

「警察官、銀行員、百貨店店員がキャッシュカードを預かる、暗証番号を聞く」ということはありません。

警察では詐欺防止策として、留守番電話や自動録音機を設置することを勧めています。



第11回松浪ふれあいネットワーク交流会

松浪地区社会福祉協議会 事務局 五十嵐 優子

平成31年2月9日(土)、松浪コミュニティセンターにて、松浪地区社協と松浪地区まちぢから協議会共催による<第11回松浪ふれあいネットワーク交流会 一住み慣れたまちの地域福祉を考える地区懇談会->を開催しま



計82名の参加がありました。

今回は、それぞれ異なった立場の方でグループを作り、提出された架空の事例に対し、その解決策を議論しました。ある家族に起こったトラブルの全貌を先ず把握し、「どこに相談すればよいか」、「どんな支援ができるか」など、福祉に関わる者ならではの熱心な意見交換となりました。各グループの発表の後、市役所高齢福祉介護課の吉武課長補佐より、「第一に、その家族のできていること、家族独自の強みに着目し、次いで援助の手を」、「援助が自分の価値観の優先・絶対化にならないように常に反問すべき」等の貴重なアドバイスをいただきました。

ご参加いただいた皆さまへの感謝と共に、お忙しい中、事例作成にご協力いただいた福祉相談室さざなみの丸本様に深謝いたします。

した。この催しは、自治会関係者ほか、地域内で福祉活動を行っている団体及び福祉施設の方々に集まってきたき、お互いの役割を知るとともに、顔の見える関係を築くことで、福祉の網の目からこぼれ落ちる人を少なくしていこうという理念のもと、11年前から毎年1回行っている交流会です。地区内の19施設・17団体より74名、茅ヶ崎市役所福祉関係部署より5名、茅ヶ崎市社会福祉協議会より3名、合



小田原市視察研修会報告

松浪地区まちぢから協議会 会長 植松 伸擴

松浪地区まちぢから協議会では、例年2月に運営委員会メンバーによる先進都市視察研修会を実施しております。今年度は、平成31年2月20日(水)、運営委員会メンバー23名が参加して「小田原市」を訪問しました。

【視察概要】

1) 地域コミュニティ組織について

…小田原市市民部地域政策課より小田原市地域政策課府川課長のご挨拶の後、地域コミュニティ系の廣田主事から配布資料を基に、小田原市の地域コミュニティ組織について次の様な説明があった。
* 小田原市の自治会数は251、自治会連合会は26、平成21年頃より地域の課題解決のために新たな地域コミュニティ組織の必要性が認識され、各自治会連合会単位に地域コミュニティ組織が設立され、平成27年度までに26地区全てに地域コミュニティ組織が設立された。地域コミュニティ組織のメンバーは、我々松浪地区まちぢから協議会と同様に地区内の全自治会長、地区社協など地域で活動している各種団体の代表、PTA、地域住民、商店街などで組織され、小田原市地域政策課が事務局として参加している。

* 各地域コミュニティ組織は、設立に当たって次のような内容の地域別計画を作っている。

- ① 地域の目指す将来像… 地域資源の活用、地域課題を解決することによる将来の姿
- ② 地域の今(現況)… 地域の状況、地域の課題
- ③ はじめの一歩… 将来像を実現するために住民自らが取り組む活動

そして地域コミュニティ組織の目指す姿を「一人ひとりがつながり、地域の力で課題を解決する組織」として、平

成29年11月に「小田原市地域コミュニティ組織基本指針」を策定し、地域コミュニティ組織の取り組むべき活動分野及び行政の取り組みについても定めている。

2) まちづくり委員会防災部会の活動について

…4地区の方々と意見交換
富士見地区、幸地区、豊川地区及び二川地区の防災部会の9名の方々にご参加頂き、各地区の防災分科会の取り組みについて次のような内容の説明があった。

- ① 富士見地区：各個人の判断で津波避難ビル体験と避難ルートを確認、避難生活の維持等の研修
- ② 幸地区：防災訓練時に自助の大切さを「防災寸劇」で
- ③ 二川地区：広域避難所運営マニュアル
- ④ 豊川地区：風水害時における一時避難施設の確保
この後、松浪地区からの参加者を4班に分けて、小田原の各地区をまわる形でそれぞれの地区の皆さんと意見交換を行った。今回参加して頂いた地区は、それぞれ特徴的な課題を抱えておられた。

- ① 富士見地区：酒匂川を遡上する津波による被害
- ② 幸地区：小田原城の周りの市街地であるため、住民及び観光客の安全
- ③ 二川地区：酒匂川と山王川の合流する地点に近く、鉄砲水による氾濫時の問題
- ④ 豊川地区：酒匂川氾濫時の一時避難場所の確保
防災訓練のやり方や住民への防災意識の啓発などについて、時間が足りないうらい活発な意見交換となった。

